

3 木製棒はかり(大型)



これらのはかりは、江戸時代末期(1857~67)及び明治10年(1877年)頃に作られたものです(推定)。

米や麦等の穀物の重さを計る商取引に使われていました。

当時は貫(かん)、匁(もんめ)等の単位で計量しており、写真のはかりは26貫(=約97.5kg)程度まで計量できたそうです。

(1貫=1,000匁=約3.75kg)

棒はかりは少数ですが現在も使われており、地方によって布団販売店等で顧客の前で計量する際に使われたり、米農家が1俵(=60kg)の米を計量する際に使われています。